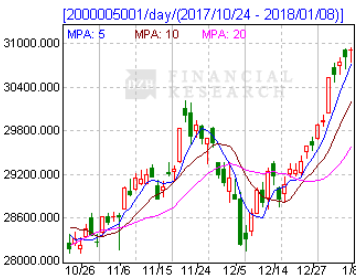


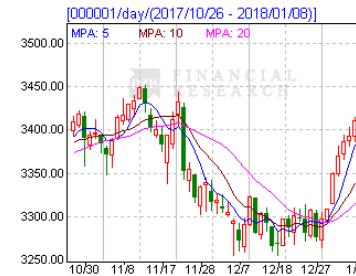


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	25,283.00	-12.87	-0.05	2.28	2.28	24,719.22
NASDAQ	7,157.39	20.83	0.29	3.68	3.68	6,903.39
日経225	23,714.53	208.20	0.89	3.59	4.17	22,764.94
上海総合	3,409.48	17.73	0.52	3.09	3.09	3,307.17
滬深300 (CSI300)	4,160.16	21.41	0.52	3.21	3.21	4,030.86
ハンセン	30,899.53	84.89	0.28	3.28	3.28	29,919.15
H株	12,235.19	23.56	0.19	4.49	4.49	11,709.30

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は3.0%高と4週続伸、上海総合指数は2.6%高

香港市場は1日が休場のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で3.0%高と大幅に4週続伸した。2日に節目の30000ポイント台を回復すると、その後も週末5日まで9日続伸と上げ幅を拡大した。昨年末から年明けにかけて発表された経済指標が総じて良好だったことに加え、中国当局が発表した旧正月期間中の流動性対策などが好感された。本土市場も4日間の取引で上海総合指数は2.6%高と3週続伸。流動性ひっ迫懸念の後退で5日まで6日続伸。5日には一時節目の3400ポイントを回復した。

今週の展望:香港市場は高値もみ合いか、北朝鮮を巡る地政学リスクが後退

香港市場は高値もみ合いの展開か。ハンセン指数は足元の上昇で短期的な過熱感が意識される公算が大きく、31000ポイント付近では上値が重くなりそうだ。ただ、NY市場をはじめとする海外市場の好調に加え、北朝鮮を巡る地政学リスクの後退でリスクオン姿勢は強まっており、北朝鮮と韓国の閣僚級会談で対話ムードが高まれば、さらなる上値追いの展開もあり得る。一方、本土市場も高値もみ合いの展開か。短期金利の低下で市場心理は上向いているが、3400ポイント付近では上値の重い展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園 (02007)	17.42	16.91
2 中国海外発展 (00688)	29.40	16.90
3 ワフ (00004)	31.25	15.74
4 中国神華能源 (01088)	22.70	12.10
5 華潤置地 (01109)	25.55	11.09
6 香港証券取引所 (00388)	262.00	9.26
7 シバック (00386)	6.23	8.73
8 テセント (00700)	438.60	8.03
9 太古A (00019)	77.70	7.39
10 CNOOC (00883)	12.00	6.95

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 銀河娛樂 (00027)	60.05	-4.23
2 中国旺旺 (00151)	6.37	-2.75
3 恒安國際集團 (01044)	84.50	-2.59
4 華潤電力控股 (00836)	14.20	-2.47
5 友邦・モバイル (00941)	78.00	-1.58
6 サズ・チャイナ (01928)	39.90	-1.12
7 ハンセン銀行 (00011)	192.10	-0.98
8 中国人寿保險 (02628)	24.35	-0.81
9 東亜銀行 (00023)	33.60	-0.74
10 中電控股 (00002)	79.50	-0.56

▼今週の主なイベント

- 1月10日(水)
- 【中国】CPI, PPI (12月)
- 1月12日(金)
- 【中国】貿易統計 (12月)

▼今週の期待材料

- ◆中国当局が旧正月期間中の流動性対策を発表、期間中の預金準備率の適用を緩和
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き5100億元の資金を市場に供給、資金供給は2週連続
- ◆北朝鮮を巡る地政学リスクが後退、9日に北朝鮮と韓国が南北閣僚級会合を開催

▼今週の懸念材料

- ◆ハンセン指数が8日まで10連騰を記録、30000ポイント突破で短期的な過熱感が意識される可能性も
- ◆本土市場でも短期的な過熱感が意識される公算、上海総合指数は8日まで7連騰で3400ポイント台を回復
- ◆金融機関に対する規制強化の動きが継続、中国人民銀行が商業銀行の管理規定を相次いで発表

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 越秀地産 (00123) : 12月の不動産販売額が47%増加、17年通年では35%増
- ☆ 吉利汽車 (00175) : 12月の新車販売台数が45%増加、18年目標は158万台に設定
- ☆ 華潤ビール (00291) : コスト上昇を受けて値上げ、業績改善期待高まる公算
- ☆ 安徽コンチセメント (00914) : 17年12月期の業績予想を上方修正、最大90%増益
- ☆ TCLマルチメディア (01070) : 10-12月の液晶テレビ販売台数が31%増と好調
- ☆ 華潤置地 (01109) : 12月の不動産販売額が203%増加、17年通年では41%増
- ☆ 華潤セメント (01313) : 17年12月本決算はセメント価格上昇で大幅増益の見通し
- ☆ 遠洋集団 (03377) : 12月の不動産販売額が93%増加、17年通年では40%増
- ◇ 四川高速道路 (00107) : 中国証券当局がA株第三者割当増資計画を受理
- ◇ 華電福新能源 (00816) : 17年通年の発電量は3%増、水力発電は35%減と苦戦

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。